

# 小学校 5年 社会科

考える  
表す

話す・聞く  
書く  
読む

育成したい  
国語力

事例や自らの経験など、他の事柄と多面的につなげながら、分かりやすく書く。  
表やグラフの意図や状況、目的に気付いて読む。  
構成を工夫し、効果的に書いたり、話したりする。

低学年  
中学年  
高学年  
中学前  
中学後  
国語  
社会  
算数  
理科  
生活  
外国語  
活動別  
道徳  
総合的学習

資料②天ぷらそばの材料の生産国(平成15年度)

そば	中国72%	日本21%	その他7%
小麦(苡苡)	アメリカ48%	オーストラリア20%	カナダ17% 日本14%
揚げ	インドネシア20%	ベトナム18%	タイ11% 日本5%
大豆(しょうゆ、てんぷら油)	アメリカ71%	ブラジル16%	日本4%

(国土交通省中部地方整備局名古屋港湾事務所HP  
みなと情報誌【めいこーる】より)  
<http://www.pa.cbr.mlit.go.jp/NAGOYA/meical/vol10/musubu.html>

## ノート・ワークシート

食 材	自給率の予想	理 由	自給率

資料をもとに「日本の食料生産」について考えたことを書きましよう。  
かじょう書きに書いてみましょう。

キーワードをつなぎ、自分の考えを 120 字程度にまとめて書きましよう。


## 単元名 「わたしたちの食生活と食料生産 小單元3 食料生産をささえる」

**小単元の流れ**

**第1次**

・食料の運ばれ方について調べる。

**第2次(本時)**

・食料の輸入先について調べ、これからの食料生産について考える。

**本時の目標**  
我が国の食料の自給率について調べ、これからの食料生産について考える。(社会的な思考・判断)

### 本時の流れ

**導入**

本時のねらいを確認する。

ねらい：これからの日本の食料生産を考えよう。

**展開**

「自給率」の言葉の意味を知る。

資料 を見て、どんな食材が使われているか書き出す。  
使われている食材の自給率の予想を理由を付けて書く。

資料 や関連する教科書の資料から分かったことをワークシートに書く。

「これからの日本の食料生産」について話し合う。

**まとめ**

さらに調べたいことを書き出し次時への見通しをもつ。

**国語力育成の視**

本時では、資料から情報を読み取ること、読み取った複数の情報をつないで自分の考えを作り出していくことが求められます。表やグラフなど様々な資料から、分かったことを書いたり、視点を絞って話し合ったりすることで、考える力を育成します。

**視 点 ①**

「自給率」は、社会科で使う学習用語です。新しい用語が出てきた時に、用語の正しい理解を図り、語彙を増やすことも大切です。辞書は、身近において調べる習慣を付けましょう。

**視 点 ②**

《予想をたてる》学習では、今までの学習で自分が学んだことと関連付けて、根拠のある予想を書くことが大切です。

**視 点 ③**

高学年になると、自分の考えを的確に表す力が求められます。「日本の食料生産」について自分の考えを 120 字程度に要約して書くという今回の課題では、まず、考えを箇条書きに表すことが必要です。その次に、それをつなぎ、自分の考えを文章に構成していきます。国語科で付けた基礎・基本の力を発揮できる場として効果的です。